

令和2年度園評価

リョーユー幼稚園

○教育方針

(1)建学の精神

「大きく、のびのび」とした心と体を養い、開拓心と報恩感謝の念と、たくましさを持ち、社会人として役立つ資質の芽生えを助長して、以って地域社会に奉仕したい。

(2)教育目標

建学の精神を受け、児童憲章、教育基本法の精神に基づく好ましい人間像を求めて、子どもが本来もっている探求心・冒険心を満たし、楽しく活動できる環境のもとで、主体的な活動のできる子ども、思いやりのある情緒豊かな子どもの育成を目指した保育を行う。

内に秘めた子どものいろいろな資質を、諸々の活動や経験をとおして掘り起こし、豊かな人間形成への起点とする。

(3)当園が考える『望ましい子どもの姿』

① 心身ともにすこやかで、笑顔のよい子

健康な体を持ち、仲間と楽しく、元気に活動する子ども。

② 創意工夫しながら、のびのびと活動する子

独り遊びのときも、集団の中での遊びでも生き生きと活動し、遊びを工夫し発展させる子ども。

③ 情緒豊かで、思いやりのある子

身の回りの自然、素晴らしいこと、美しいものなどに感動できる心を持ち、集団生活の中で、やさしさ・思いやりが見えてくる子ども。

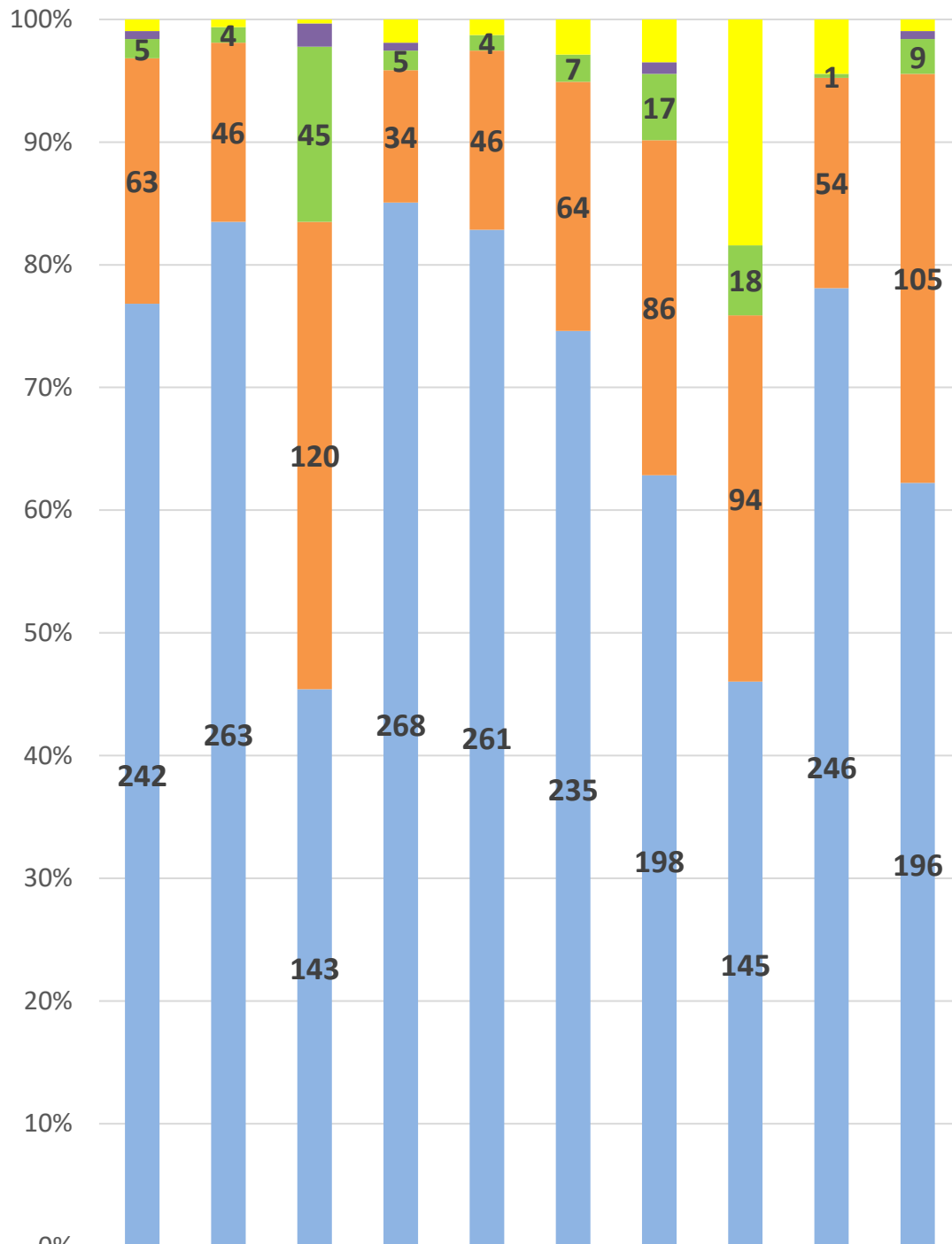
(4)努力目標

①交通安全対策と園内の安全点検の励行。

②毎日、環境を整えて、園児の登園を待つ。

③栽培活動や自然体験活動の推進と食育につなぐ活動の推進。

令和2年度 学校（園）評価



	喜んで登園	園生活を楽しむ	早寝早起	園の目標	園行事の充実	保育教諭の対応	家庭への情報提供	地域の環境や人材	小学校への接続	お子さまとの時間
■ わからない	3	2	1	6	4	9	11	58	14	3
■ 思わない	2	0	6	2	0	0	3	0	0	2
■ あまり思わない	5	4	45	5	4	7	17	18	1	9
■ 少し思う	63	46	120	34	46	64	86	94	54	105
■ そう思う	242	263	143	268	261	235	198	145	246	196

項目	評価	取り組み状況と改善点
教育目標	A	<p>「おおきく のびのび」の大きな教育目標がまだ十分に保護者に浸透していないようである。目標を発信する場面がコロナ禍でなかったことも一つだと思うが、普段の保育から感じとれるようになればと思う。職員一同で今後も課題として発信していきたい。</p>
基本的な生活習慣	B	<p>「早寝早起き朝ごはん」をモットーに、基本的な生活習慣の確立を家庭に勧めている。しかし、実行されてある家庭は少ないようである。朝9時半までの登園時間をまず守ってもらえるように、今後も家庭への働きかけを行ってきたい。園内での基本的な生活習慣(挨拶、衣服の着脱など)も発達段階に応じた指導を、徹底してしていきたい。</p>
保育の状況	A	<p>一人一人に応じた対応を心掛けながら、保育を行っている。子ども達が「明日も園に行きたい」と期待できるように、保育の立案、充実を目指している。のびのびと遊ぶ中で、集団生活の約束や、話を聞く姿勢、自分の思いを言葉で伝えるなどの、小学校入学へとつながる保育を心掛けている。ともすると、ハイレベルになりがちなので、年齢や発達段階に応じた指導を常に見直していきたい。</p>
園生活	A	<p>園生活においては、子ども達は十分楽しんでいるようである。コロナ禍の中、子ども達に不安を与えないように、なるべく普段と変わらない生活を心掛けてきた。毎日の生活の中で、子ども達とはもちろん、保護者とも信頼関係を築けるように職員一同努力し、一層安心して預けてもらうことができるようにしていきたい。また、感染対策の徹底と見直しは今後もしっかりと行っていきたい。</p>
園行事	A	<p>コロナ禍ということだが、実施できるようにと行事の見直しを行いながら取り組んできた。参観日の実施や、保護者参加の行事が減り、保護者からの不満の声も聞かれたが、子ども達を第一に考え、その他の行事はほぼ実施できた。その中で、今まで例年どおりに行ってきたものが内容を変更したことで、以前よりも良くなったという行事もあった。まだ続きそうなコロナ禍なので、状況に応じた行事内容の検討を今後も行っていきたい。</p>

<p>情報発信</p>	<p>B</p>	<p>感染症の発生状況を詳しく知らせてほしいという保護者の声が多く聞かれているので、どこまでどのように知らせるのか検討して、対応を考えていきたい。また、コロナの件に関しては、慎重に内容を考えながら、知らせている。保護者に分かりやすく、そしてなるべく早い情報提供を行ってきたい。</p>
<p>子育て支援</p>	<p>A</p>	<p>「りょーちゃんひろば」「ピヨピヨランド」ともに、コロナの状況に左右されながらも、安心して参加できる時期はたくさんの親子に利用してもらった。今後も活動内容の見直しを行いながら、保護者の子育ての援助ができる場の提供を行っていきたい。</p>
<p>地域や関係機関との交流や連携</p>	<p>A</p>	<p>地域の「佐用姫文庫」との交流活動を今年度も各学年実施した。お年寄りの方との交流は、子ども達はもちろん、お年寄りの方にも喜んでもらっている。今後も継続していきたい。小学校との交流は、今年度もコロナで中止となった。コロナが収束した際は、実施していきたい。また、例年行っている老人施設の訪問はできなかったが、近隣の施設からの誘いで4歳児一クラスのみ、訪問をした。とても喜んでもらい、訪問の大切さを感じた。再開できれば積極的に行っていきたい。</p>

※(評価の基準)

- A…十分に達成している
- B…達成している
- C…取り組みが不十分である
- D…全く取り組めていない